

平成27年3月 第1回定例会

平成27年度予算を可決



みんなのお楽しみ 給食の時間だよ (しらすぎ保育園)

平塚市議会は、2月19日から3月19日までの29日間の会期で3月定例会を開催しました。

今定例会では、平成27年度予算に関する議案、条例の制定や一部改正案など、47件の議案が市長から提出され、審議の結果、これらの議案を原案どおり可決しました。

※議案と審議の結果は8面に掲載しています。

今から4年前前に発生した東日本大震災。被災地の支援が進められる中で行われた統一地方選挙で当選した市議会議員にとって、今回は4年間の任期最後の定例会となりました。

平成27年度の市の予算編成を決定する今定例会では、本会議初日、市長が予算案をはじめとする議案の提案理由を説明しました。これに対し、本会議2日目から、各会派の代表者5人が代表質問を行い、さらに13人の議員が市政全般にわたる総括質問を行いました。また、主な議案は所管の常任委員会に付託し、詳細な審査を行いました。本会議最終日には、各議

案の常任委員会での審査結果を受け、討論と表決を行いました。その結果、市長提出議案を、すべて原案どおり可決しました。

今定例会では、落合市長による4年間の市政の実績や成果、将来のまちづくりの方向性を問う質問が多数ありました。また、ツインシティ整備推進事業については今後の展望や問題点が問われました。そのほか、子育て支援策や経済活性化策なども尋ねられました。

可決した主な議案

●就学前の子供の教育や保育に関する条例などを制定

子ども・子育て支援新制に対応するため、就学前の子供の保育料などが定められました。また、市立幼稚園の保育料も改定されました。

●教育委員会制度の改革に伴い条例を制定

地方教育行政に関する法

平成26年度予算を修正 総額1793億6101万円に

今定例会では、平成26年度予算に対して、市長が総額14億5302万円の増額補正を提案。事業費の確定による補正のほか、プレミアム商品券の発行や災害用備蓄品の拡充など国の地域住民生活等緊急支援交付金を財源とした事業の経費が計上されました。また、運転資金が不足する市民病院への資金の貸し付けに備え、5億円を一般会計に計上したことについて、「具体的な経営改善策もない市民病院への貸し付けは、市の財政の圧迫につながる」との反対討論がありました。

議員からの提出議案

議員定数の削減に合わせ各常任委員会の委員定数を7人にする条例改正は可決、「都市再生機構」賃貸住宅の家賃制度の現行維持を求める意見書は否決しました。なお、昨年12月定例会で提案された「歯と口腔の健康づくり推進条例」は引き続き審査することとなりました。

まちづくり条例を改正

開発を行う際の手続きや、住宅開発における緑化に関する規定などを改めたほか、市民のまちづくりへの参画を進めるための見直しを行いました。

予算総額 1825億890万円 当初予算が決まりました

27年度の当初予算は統一地方選挙を控えて骨格予算とし、人件費・扶助費などの義務的経費や経常的経費を中心に編成されました。一般会計は、子育て支援や福祉、財政の健全化などに配慮したものとなっています。

一般会計	808億5000万円
特別会計	819億790万円
病院事業会計	197億5100万円

◆平成27年度の主な事業

【子ども・子育て支援】

- ・保育士の雇用経費の助成…1億5007万円
- ・民間保育所の運営費の補助…7億7957万円

【安心・安全への対応】

- ・福祉会館の耐震補強工事など…5億7906万円

【大型事業】

- ・市役所新庁舎低層部分などの建設…18億5943万円
- ・市民病院の改築…48億6960万円



耐震補強する福祉会館

病院関連予算に議論が集中

平塚市民病院は、災害時に備えて耐震性を強化した新棟の建設を進めています。こうした中、高額医療機器の導入や人件費の増大に加え、想定外の医業収入の減少により、運転資金が不足する事態が発生しました。

病院事業会計予算案には、収支に基づく着実な運営を条件に賛成する意見と、経営改善計画の見直しや人件費削減など自助努力の必要性を訴え、反対する意見がありました。

主な内容

2・3面
7面

代表質問
常任委員会の審査概要

4~6面
8面

総括質問
議案審議の結果

6面
質問者と主な項目

本会議の動画をネットで配信中

平塚市議会

検索